

1 授業見学（1年：数学、2年：英語、3年：日本史探究 等 と校舎内見学）

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 第1回授業アンケート結果【教頭より】（別紙）

- ・7月末に実施。
- ・4段階で評価。平均3.33で例年並み。88.5%の生徒が肯定的な回答。満足度という形で集計。
- ・年に2回の授業交流を行っており、教員がお互いに授業見学を行っている。特に若い教員は積極的に見学している。春、秋に各1週間実施。保護者にも授業を公開している。
- ・生徒の学習への取り組み状況は、「授業中は集中しているが、必要な予習・復習がほとんどできていない」という結果が出ている。
- ・記述部分も各教員にフィードバックし、授業改善に取り組んでいる。より生徒のニーズに応えられる授業を目指している。
- ・ICTを活用するために研修会を何度も開催している。
- 保育園でも相互の授業見学を実施したいと考えているが、なかなか実施できていない。経験を持っている先生は引き出しがたくさんあるので。
- 中学校では教員が3人グループを作り、その中で相互に授業見学を行っている。
- 授業見学はお互いにいい影響を与える。見せる方もより良い授業を目指すので良い効果がある。
- 「予習・復習がほとんどできていない」が気になるが、学校の目が届かず、定着させるのは難しいと思う。
- 生徒もタブレットをしっかりと活用している。
- プロジェクターを活用している授業が多く、授業の進度も生徒の吸収するスピードも以前よりアップしている印象を受けた。
- 先生方がプロジェクターに投影しているデータを生徒が後で希望すればもらうことができるのか（生徒向けに配信されているデータは後ほど見ることができる）

5 「学校教育自己診断」アンケート項目【首席より】（別紙）

- ・昨年度からほとんど変更なし。生徒用29番（「学校は生徒一人1台端末を効果的に活用している」）だけ追加された。
- ・昨年度より保護者はQRコードで回答。生徒・教員はクロムブックで回答。

6 令和6年度使用教科書の見本【教務主任より】(別紙)

- ・すでに教育委員会に提出済み。この会場の前方に見本を展示している。

7 本校の教育活動の進捗状況【3学年および4分掌長より】(別紙)

・1年生

(1)社会で活躍できる人になる

- ・遅刻ゼロ週間(6/13~6/16、8/28~9/1)実施。この期間は普段の遅刻指導とは別の課題も与えている。夏休み明け、文化祭明けなど気の緩みがちな期間に設定している。遅刻回数を年間200回以下にしたい。
- ・治水緑地のクリーン活動を1週間前に実施。
- どんな遅刻が多いのか。(数秒、数分の遅刻が多い)
- 遅刻の指導はどのようなことをしているのか。
(遅刻した日の放課後に、今後に向けて遅刻の原因の振り返りや改善方法について文章を書くという指導)
- ヘルメットの着用はどうなっているのか。(努力義務なので特別に指導はしていない)
- 11月に地域でクリーンアップ作戦(菜の花の種まき等)を実施予定。

(2)確かな学力

- ・スタサブ週間(動画配信など、6/20~6/24)を実施。
- ・「予習・復習をあまりしていない」という点の解決策として、スタサブの課題を配信して教員が一括して提出状況を把握できるようにしている。
- ・進路調べ発表(総合的な探究の時間を活用して)を実施。

(3)個々の進路の方向性に沿った、確かな分離選択とコース選択

- ・文理、各コースの適切な選択のために生徒対象コース別説明会を実施。
- ・大学見学会実施予定(10/17)(バス8台)。

・2年生

(1)ふさわしい生活習慣に根ざした、他人を認め助け合い高め合う集団づくり

- ・朝のSHRの着席は徹底されている。
- ・集会の5分前行動、生徒による点呼・報告もほぼ定着。
- ・授業1分前にはほぼ全員の生徒が着席している。
- ・授業中の私語もほとんどない。
- ・カラーコンタクトで注意される生徒がいる。

(2)修学旅行を通じて、自然環境・文化・平和について学ぶ

- ・沖縄・八重山諸島への修学旅行(12/6.7.8.9)の準備が進んでいる。しおりもほぼ完成。
- ・総合的な探究の時間には、調べ学習(SDGS)に取り組んでいる。

(3)基礎学力のさらなる充実とともに、発展的学力の充実を目指し、進路の可能性を広げつつ、進路目標を定める。

- ・基礎学力の充実(スタディサプリ、動画配信、面談の実施など)。
- ・英数は早朝講習を春から継続して実施。
- ・12/25、26に希望者を募って勉強合宿(大阪少年自然の家)を実施予定。食事・睡眠以外はずっと勉強。

- ・ハローワークの方に来ていただいて、「働くこととは」という講演を実施。
- ・9月末に保護者向けに大学教授（臨床心理士）に来ていただいて進路説明会（「家庭での生徒の受け止め方」について）を実施。
- ・分野別説明会を10月に実施予定。

・3年生

(1)他人を認め、助け合い高め合う集団づくり

- ・遅刻指導の件数は昨年度とほぼ同数。9月に3年生では一人だけ遅刻指導にかかった生徒がいる。
- ・普段からの丁寧な指導が浸透している。生徒の対応も段々と大人に近づいてきている。
- ・教員の普段の行動をすべて生徒の模範になることができるよう行動している。
- ・身だしなみ、言葉遣い、挨拶などのマナー面も少しずつであるが精度が上昇している。

(2)学校行事に積極的に参加し、学校生活を充実させながら進路実現に向けての発展的な学習に取り組む

- ・体育祭、文化祭はコロナ前と同じレベルで開催。調理バザーも実施。生徒たちは非常に楽しんでいる様子だった。
- ・進学講習には多数の生徒が参加。英語、数学、日本史で実施。

(3)個々の進路実現に向けて、高い志を持ち最後まで諦めずに努力する

- ・就職8人は全員合格。1回目の試験で全員内定した。
- ・進学のミスマッチを避けるため、また、納得した進路実現のために担任、進路の教員が進路相談に取り組んでいる。

→講習はどのように行っているのか？

（教員がボランティアで早朝、土曜日、放課後などに実施。数学、化学、英語、日本史、現代社会）

・教務企画部

(1)早期連絡と提出期限の徹底と内容の正確さ

- ・来年度使用する教科書の採択は完了。
- ・シラバスに関して。今年度提出分からすべて新教育課程。

(2)専門コース設置校としての内容の充実

- ・16期生1年生の予備調査では、例年と比較して人文探究専門コースを希望する生徒が少ない。一般理系とこども保育専門コースは増加。
- ・観点別学習の評価に関して、教務企画部内でも「評定の5がどうしても少なくなる」ことについてなど内規の変更案に関して議論を進めている。
 - 中央による傾向がある。
 - 1：1：1で評価しているのは大阪だけ。大阪の中でも私立は違う。

(3)中学校への広報活動

- ・学校説明会を4回実施予定。しかし、部活動体験を希望する生徒が減少している。
- ・校外での学校説明会で中学生も文化祭に参加できるとアナウンスをしたので、多くの中学生が文化祭に来場してくれた。
- ・来年度どういう形で実施するかを検討中。

・生徒指導部

(1)遅刻指導の強化

- ・8月末時点で遅刻数は昨年度より少し多いが、年間で1000回は下回ると思われる。

(2)部活動の活性化

- ・文化祭の来校者数は金曜日・土曜日の2日間で1000人以上だった。これはコロナ前で各学年7クラス募集のころと同じくらいである。中学生は約130人来校。

(3)その他、自転車の事故について

- ・登下校中の自損事故が多い。

・進路指導部

(1)自学自習の習慣の確立

- ・夏期講習では1年生5講座、2年生6講座、3年生12講座を開講。
- ・放課後の自習室の利用が昨年度より少ない。

(2)自ら考え、進路決定するための指導・支援

- ・学校あっせん就職希望者8名全員内定。事務職の希望者が多い年もあるが、今年は製造業希望者が多かった。
- ・コロナ明けの影響で、観光関連の求人数が増加。本校からもバスガイド希望の生徒もいる。
- ・指定校推薦の校内推薦者が決定。例年と同じくらいの人数。
(四年制大学35名、短大8名、専門学校3名)
- ・共通テストには26人が出願。共通テストは高校を通して出願する。
- ・専門学校は例年美容系が多いが、今年は動物系が増えている。最近は動物系の専門学校は定員がすぐに充足してしまうところも出てきている。以前は専門学校受験者には「急いで決めるように」という指導はしてこなかったが、これからは変えていく必要もあるかもしれない。動物病院の看護師の資格が国家資格になるということも理由の1つかもしれない。

・保健部

(1)基本的な生活習慣の改善・定着を図る。

- ・これまでは「保健だより」は紙で発行してきたが、Classroomでの発行に変更。

(2)学校保健活動を展開する中で、生徒の健康教育・防災教育の推進を図る。

- ・11月に火災想定で避難訓練を実施予定。
- ・学年別で事前学習プリントを用意する予定。

8 その他、意見や質問

→こども保育専門コースを選択する生徒が増加していることがうれしい。

9 次回日程の確認

第3回 令和6年2月5日(月) 11:00~12:30

以上